

出前民俗芸能教室事業

民俗芸能(無形民俗文化財)は、人から人へ、「技」と「心」が受け継がれ、それぞれの地域で保存会などによりまもられてきました。次の世代に伝え、まもっていくには、子どもたちが、まずは身近な場で民俗芸能に直接ふれることが大切です。そして、一人でも多くの子どもたちが、地域の伝統文化を理解し、民俗芸能の継承者になってほしい。

そのような機会のひとつとして、民俗芸能の保存会などが、地元の小中学校で、伝統芸能を披露、体験、交流する民俗芸能の出前教室を6校で開催しました。昨年は、のべ1,500人以上の子どもたちが参加しました。

今年も、6校で開催します!その活動は、県のホームページで紹介していきます。

【平成19年度実施校】



福沢市立牧川小学校 尾張の虫送り行事(祖父江の虫送り牧川実行委員会)
 豊川市立八南小学校 躍山境おどり(躍山境おどり保存会)
 安城市立安城東部小学校 三河万歳(安城の三河万歳保存会)
 蟹江町立須西小学校 須成祭(須成敬神会)
 半田市立板山小学校 板山獅子舞(板山獅子保存会)
 一宮市立栗葉小学校 島文楽(島文楽保存会)

文化で あいちが 元気になる!

求む!
未来の考古学者

この土器は、
 何に使ったのかな?
 あなたも一緒に
 考えよう!

かいがらやま博士

弥生時代「ものづくり」体験事業

農業をはじめ、繊維、金属など、私たちの暮らしを支える様々な技術は、長い歴史を経て伝えられ発展してきました。そのルーツとされる古代の技術に触れ、ものづくりの歴史を学ぶ「米づくり」「編物・織物づくり」「土器づくり」の3つの体験講座を開催します。

昨年は、「金属づくり」の体験講座も開催しました。小学校4年生から中学生までの児童生徒とその保護者の方が対象です。今は使われなくなった昔の道具を使って、貫頭衣(かんとうい): 弥生時代の服装)を着て体験しませんか?

「土器づくり」の体験講座は、10月ごろに募集します!
<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/> にアクセスしてね。



一度出かけて見ませんか。県内で発掘された円窓付土器などの本物がみられますよ。

愛知県清洲貝殻山貝塚資料館
 東海地方最大の弥生時代集落跡朝日遺跡から出土した土器など様々な考古資料が展示されています。弥生体験工房では、火起こしやミニチュア土器作りなどを無料で体験できます。(入館料は、無料です。)

〒452-0932 愛知県清洲市朝日貝塚1 ☎052-409-1467
<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/>
 開館時間 ●午前9時30分～午後4時 休館日 ●日・月・火曜日、祝日、年末年始 【交通】東海交通事業城北線尾張星の宮駅より徒歩10分 / 名鉄名古屋本線新清洲駅より徒歩30分 / 東名阪自動車道清洲東ICより車で約5分

愛知県埋蔵文化財調査センター
 県内各地の遺跡で実施された発掘調査の出土品や調査記録を保管するとともに、その一部を展示・公開しています。(入館料は無料ですが、説明等を希望される方は事前にご連絡ください。)

〒498-0017 弥富市ヶ須町野方802-24 ☎0567-67-4164
 開館時間 ●午前9時～午後4時 休館日 ●土・日、祝日、年末年始 【交通】近鉄弥富駅より徒歩15分 / JR東海関西線弥富駅・名鉄弥富駅より徒歩20分 / 東名阪自動車道弥富ICより車で約15分

文化財関連のお知らせです!

平成20年度民俗芸能大会のご案内

民俗芸能への理解と認識を深めるために、県内の国・県指定等の民俗芸能団体5団体が、伝統芸能を披露します。子どもたちも参加します。

第1回 北名古屋大会 9月21日(日)午後1時開演 北名古屋市文化労働会館
 第2回 新城市大会 2月22日(日)午後1時開演 新城文化会館

国指定名勝天然記念物「木曾川堤(サクラ)」樹勢診断親子観察会のご案内

一宮市から江南市にかけての9kmにわたりヒガンザクラ、シダレザクラなどの並木となっていますが、120年以上経っている木もあり、老木化が進んでいます。サクラの再生に向けて、樹勢診断を親子で観察してみませんか。

10月下旬に観察会を開催。愛知県立稲沢高等学校の協力を得ます!



(お問い合わせ)教育委員会生涯学習課文化財保護室 ☎052-954-6782

弥生学習講座「出前博物館」

遺跡から出土した土器や石器など、古代の遺物を間近に観察し手に取ることができれば、大昔の生活や人々の姿をより身近に感じることができるでしょう。

愛知県清洲貝殻山貝塚資料館に収蔵されている本物の土器や石器を持って、小学校へ出前します!弥生時代についての解説、古代の道具を復元した火起こし体験など、ふだんの学校とは違った体験ができます。



火起こし体験(尾張旭市旭丘小学校)

県内各地域には、伝統的な民俗芸能や郷土に残る文化財など自然と風土に根ざした独自の歴史や文化がつかわれています。

愛知県教育委員会では、子どもたちの豊かな人間性や多様な個性を育み、文化芸術に対する興味を高めるために、子どもたちが本物の優れた文化芸術を体験したり、文化芸術活動に気軽に参加したりできる機会を設けます。

また、ふるさとのよさを理解し、愛する気持ちを高めることができる魅力ある地域づくりのために、次代を担う子どもたちが地域の方々とともに、伝統芸能を継承していく活動や、身近な文化財をまもっていく活動を応援していきます。

地域ふれあい芸術体験事業 ～舞台芸術に親しんで感激!～

県教育委員会では、県内の優れた舞台芸術団体を市町村へ派遣して、地域での文化芸術への参加体験交流を促進することを目的とした「地域ふれあい芸術体験事業」を実施します。この事業を通して、子どもたちが優れた舞台芸術に直にふれることによって、豊かな創造力や感性を育くむとともに、地域の人々が子どもたちと一緒に舞台芸術に親しむことによって、地域の文化や教育の環境が向上するきっかけになることを願っています。

昨年は9月17日(祝)に御津町文化会館(ハートフルホール)で、「セントラル愛知交響楽団」によるオーケストラ公演が行われ、420人の子どもや大人が参加しました。

オーケストラの演奏やヴァイオリニストの独奏が、楽器の紹介が行われ、親しみやすく美しい音色が参加者を魅了し、オーケストラについて学ぶ機会となったと好評でした。また、御津中学校吹奏楽部は、事前に楽団員から実技指導を受け、当日は舞台上で楽団とともに演奏し、参加者から大きな拍手が送られました。



楽団と共演(御津中学校)

吹奏楽部員の感想

本番前の練習ではとても緊張してしまいましたが、本番では楽しめればいやと聞き直って、落ち着いて演奏できました。これからたくさん練習して、もっともっとうまくなりたいです。



ワークショップ(御津中学校)

その他、11月18日(日)に岩倉市総合体育文化センターで、「劇団うりんこ」による演劇公演が、12月24日(月)に豊明市文化会館大ホールで、「志多ら」による和太鼓公演が行われ、多くの子どもや大人が参加して、感動を分かち合いました。

大切な文化財、私たちもまもっています!!

◎愛知県立犬山高等学校 発 **「からくり文化財」**

「犬山祭の車山行事」は、国指定の無形民俗文化財で、からくりやお囃子は、なくてはならないものです。県立犬山高等学校からくり文化部の生徒たちは、地元保存会の方々の協力を得て、からくりやお囃子を練習しています。部員は少ないですが、犬山市立犬山中学校のアートコミュニケーションクラブとの合同での練習や、犬山市の様々な行事などへの参加など、未来の「犬山祭の車山行事」の後継者をめざしてがんばっています。

中・高合同のからくり公演(からくり展示館・犬山市)

◎愛知県立半田農業高等学校 発 **「ハナノキ研修班」**

ハナノキ自生地での取り木作業(豊根村)

愛知県の豊根村川宇連地区には、天然記念物として国からの指定をうけている「ハナノキ自生地」がありますが、老木であることから、最近、樹勢の衰えが目立ってきました。県立半田農業高等学校農業園芸科の生徒達は、文化庁の許可を得て、地元の方々の協力のもと、老木の枝から「取り木」という技術を使って新しい苗木を育てる研究を始めました。

◎高浜市立南中学校 発 **「えんちよこ獅子クラブ」**

「えんちよこ獅子」は、元禄年間に始まったと伝えられる県指定の無形民俗文化財です。獅子には雄、雌の区別がなく、2人1組で獅子面をかぶり、1人が上半身、もう1人が下半身になって7種類の曲芸的な舞いを演じます。

現在では、高浜市立南中学校の生徒たちが、保存会の指導を受けて、その技を受け継いでいます。民俗芸能大会にも出場し、その妙技に会場全体が沸き立ちました。

7月29日(火)には、世界少年野球大会オープニングセレモニーで、日頃、鍛えた技を披露する予定です。

地元行事での公演(高浜市)